

令和8年5月12日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 橋本
室長補佐 清水
(担当) 出生児縦断統計係
(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7566)
(直通電話) 03(3595)2321

第15回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化	3 頁
2 子育てについて保護者が負担に思うことや悩みの変化	5 頁
3 こどもの平日の就寝時間	7 頁
4 こどもが将来働きたい地域	9 頁
統計表	11 頁
用語の定義	18 頁

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス（<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/24/index.html>）

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、2010（平成 22）年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である 2001（平成 13）年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の 2010（平成 22）年 5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 15 回調査における対象児は 15 歳（中学 3 年生）である。

3 調査の時期

2025（令和 7）年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日とし、第 7 回調査以降 5 月 25 日とした。）

4 調査事項

保護者…父母の就業状況、子育てについて 等

子ども…家族の状況、父母との会話、将来について、就きたい職業 等

5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。第 10 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
第 9 回	27,397	24,204	88.3%
第 10 回	26,141	24,041	92.0%
第 11 回	25,362	23,216	91.5%
第 12 回	24,790	22,278	89.9%
第 13 回	24,755	20,830	84.1%
第 14 回	24,672	20,295	82.3%
第 15 回	24,546	19,846	80.9%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）
第13回調査	13歳（中学1年生）
第14回調査	14歳（中学2年生）
第15回調査	15歳（中学3年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	-
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微少（0.05未満）の場合	0.0

- (4) 「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は「平成13年出生児」、「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」は「平成22年出生児」としている。
なお、平成13年出生児は、2001（平成13）年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としており、1月生まれは1月、7月生まれは7月を調査の時期としていることから、平成22年出生児との比較の際には留意が必要である。
- (5) 「1 母の就業状況の変化」（3～4頁）及び統計表1～2（11～12頁）に記載している「出産1年前」、「出産半年後」の「出産」とは、調査対象である子の出産をいう。
- (6) 第12回調査までは、同じ調査票に子どもと保護者が回答する方法としていたが、第13回調査以降は、平成13年出生児、平成22年出生児とも対象児本人用と保護者用として調査票を分冊し、それぞれが回答する方法とした。

結果の概要

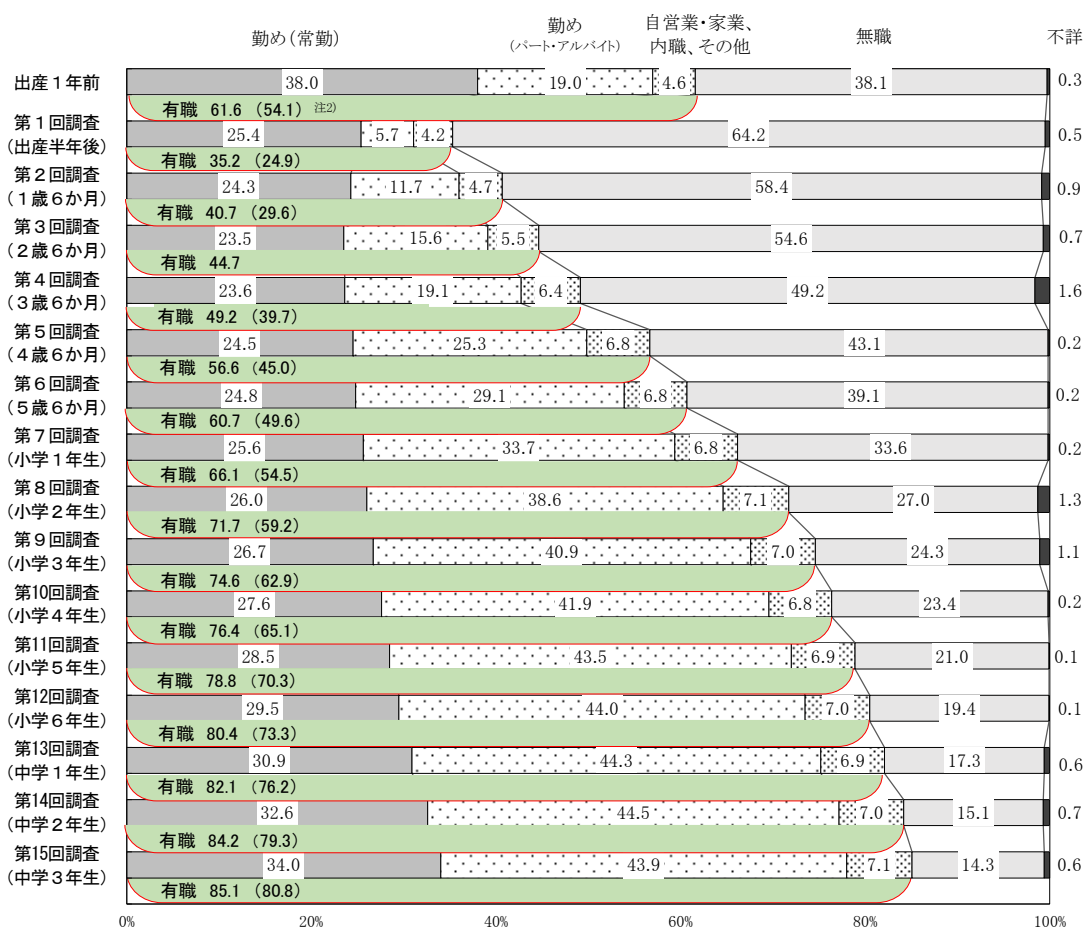
1 母の就業状況の変化

平成22年出生児について、母が有職の割合は第15回調査（中学3年生）で85.1%と、平成13年出生児（第15回調査）の80.8%に比べて4.3ポイント高くなっている。また、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第15回調査まで継続して「勤め（常勤）」の割合は31.8%と、平成13年出生児の23.5%に比べて8.3ポイント高くなっている

平成22年出生児について、母の就業状況の変化をみると、有職の割合は出産1年前の61.6%から第1回調査（出産半年後）で35.2%に低下したが、その後は年々上昇し、第15回調査（中学3年生）では85.1%と、平成13年出生児（第15回調査）の80.8%に比べて4.3ポイント高くなっている。これを平成13年出生児と比べると、各回における母が有職の割合はいずれも高くなっている。

また、「勤め（常勤）」の割合は第3回調査（2歳6か月）の23.5%から第15回調査（中学3年生）の34.0%までゆるやかな上昇傾向にあり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は第1回調査（出産半年後）の5.7%から上昇し、第15回調査（中学3年生）では43.9%となっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



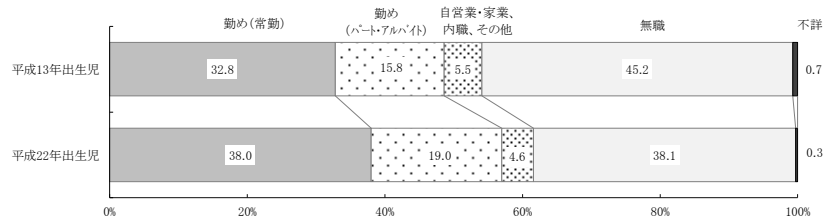
注：1）平成22年出生児の第1回調査から第15回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 14,158）を集計。

2）（ ）内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第15回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 23,346）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

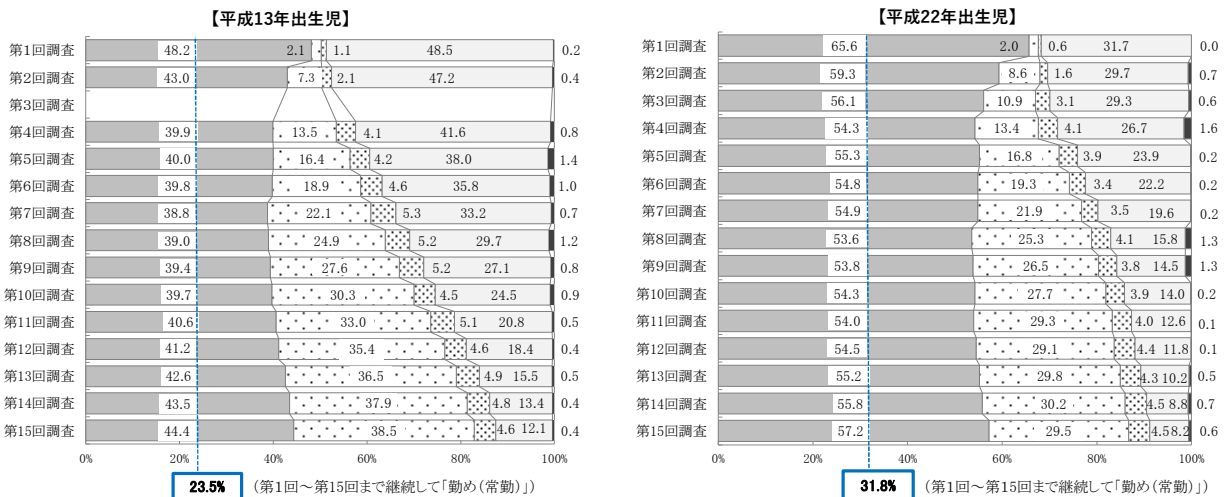
平成22年出生児について、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の第1回調査（出産半年後）から第15回調査（中学3年生）までの就業状況の変化をみると、各回における「勤め（常勤）」の割合は平成13年出生児より高い割合で推移しており、さらに、第1回調査（出産半年後）から第15回調査（中学3年生）まで継続して「勤め（常勤）」の割合は31.8%と、平成13年出生児の23.5%に比べて8.3ポイント高くなっている（図2（2））。

図2 出産1年前の就業状況別に見た母の就業状況の変化・世代間比較

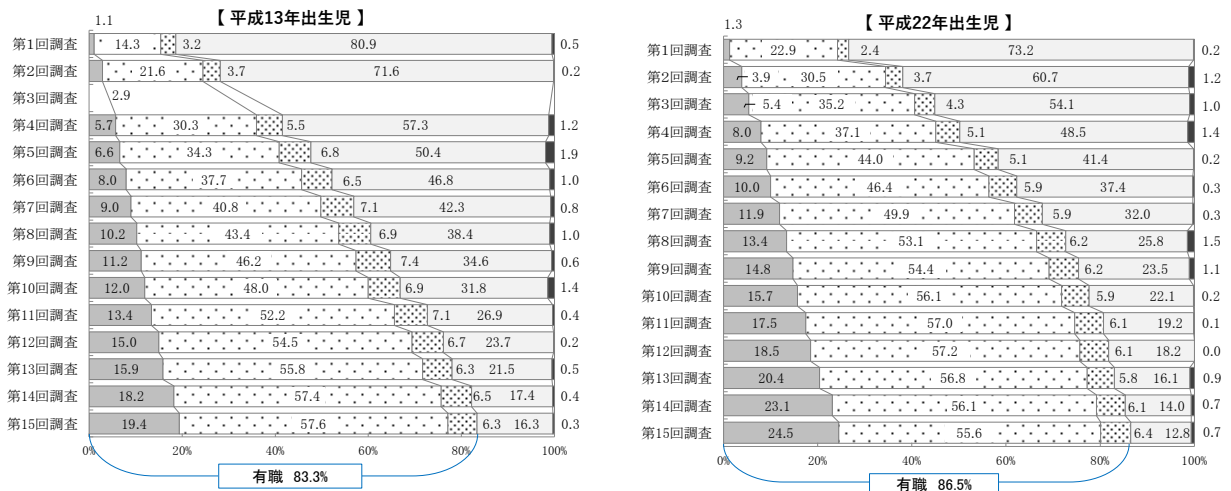
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第15回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児 総数 23,346、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」7,650、「勤め（パート・アルバイト）」3,687、平成22年出生児 総数 14,158、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」5,386、「勤め（パート・アルバイト）」2,688）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

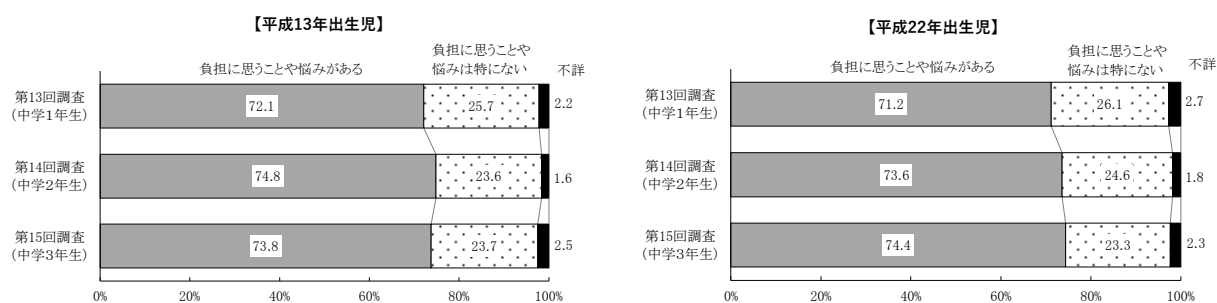
2 子育てについて保護者が負担に思うことや悩みの変化

平成22年出生児について、こどもが中学生の間の子育てについて保護者が「負担に思うことや悩みがある」とした割合は各調査回とも7割以上であり、その内容（複数回答）をこどもの性別にみると、「こどもの将来（進路など）に関すること」や「こどもの成績に関すること」では男児の保護者のほうが割合が高く、「こどもの交友関係に関すること」では女兒の保護者のほうが高くなっている

平成22年出生児について、こどもが中学生（第13回調査から第15回調査まで）の間の子育てについて保護者が負担に思うことや悩みの変化をみると、「負担に思うことや悩みがある」とした保護者は各調査回とも7割以上であり、この傾向は平成13年出生児と同様である（図3）。

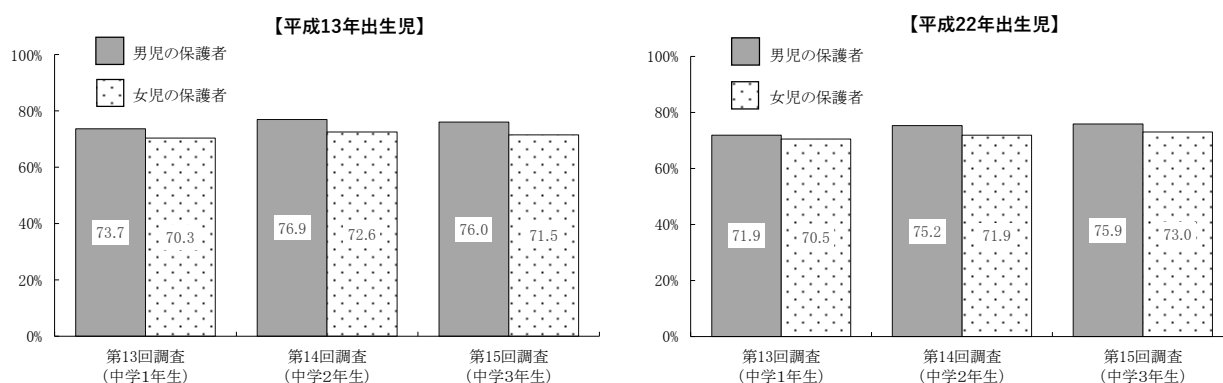
また、「負担に思うことや悩みがある」とした保護者の割合をこどもの性別にみると、各調査回とも女兒の保護者より男児の保護者のほうが約1～3ポイント高く、男児の保護者のほうが高い傾向にあることについては、平成13年出生児と同様である（図4）。

図3 こどもが中学生の間の子育てについて保護者が負担に思うことや悩みの変化・世代間比較



注：第13回調査から第15回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 26,957、平成22年出生児 17,757）を集計。

図4 こどもが中学生の間の子育てについて保護者が負担に思うことや悩みがある状況の変化・世代間比較

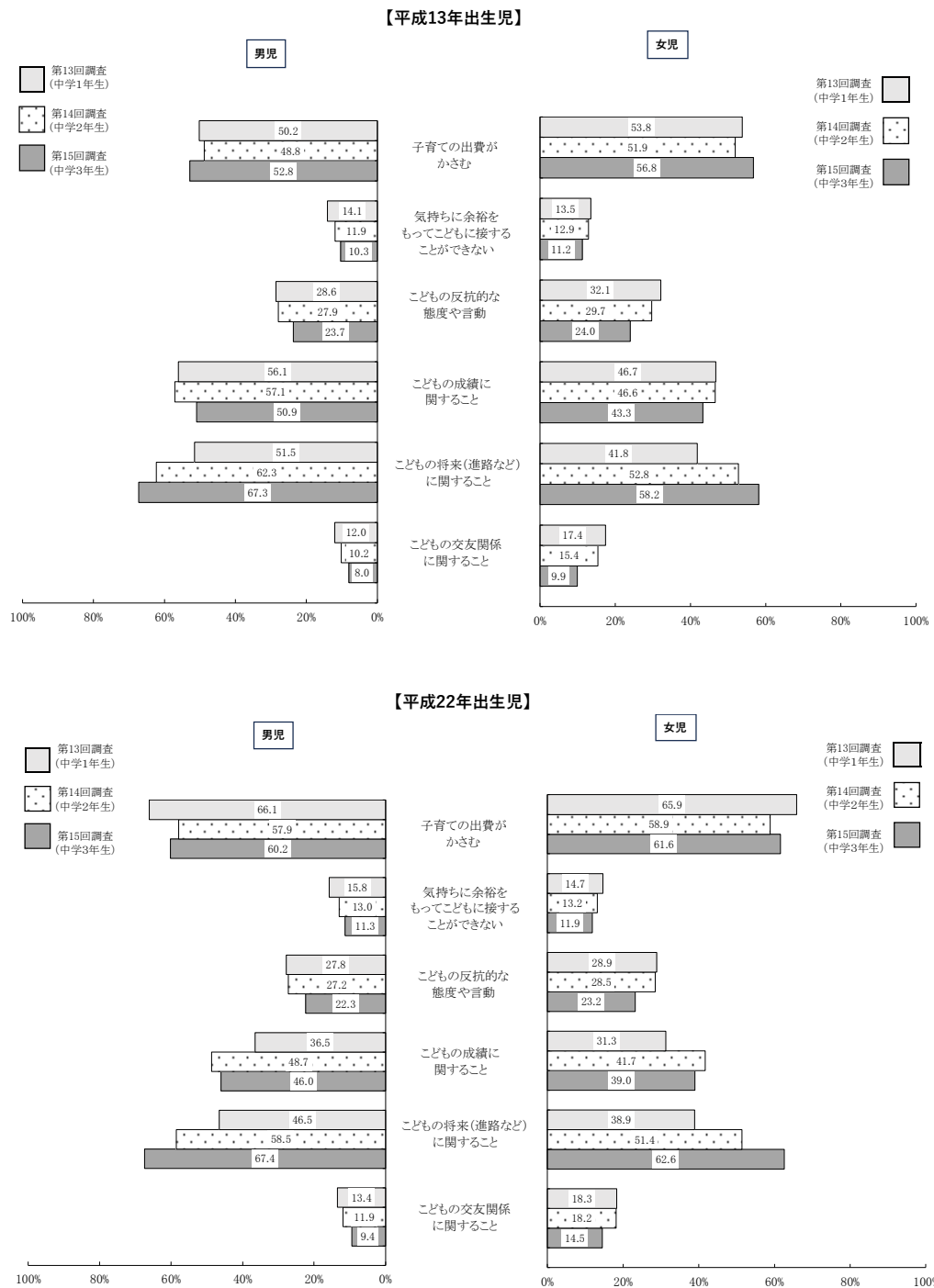


注：第13回調査から第15回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 26,957、平成22年出生児 17,757）を集計。

平成 22 年出生児について、子育てについて「負担に思うことや悩みがある」とした保護者の悩み等の内容（複数回答）をこどもの性別にみると、第 15 回調査（中学 3 年生）では男児・女児の保護者とも「こどもの将来（進路など）に関すること」の割合が最も高く、次いで「子育ての出費がかさむ」となっており、この傾向は平成 13 年出生児と同様である。

また、各調査回とも「こどもの将来（進路など）に関すること」や「こどもの成績に関すること」では女児の保護者より男児の保護者のほうが割合が高く、「こどもの交友関係に関すること」では男児の保護者より女児の保護者のほうが高くなっている。この傾向も平成 13 年出生児と同様である。（図 5）

図 5 子どもが中学生の間の子育てについて保護者が負担に思うことや悩みの内容（複数回答）の変化・世代間比較【主な 6 つ】



注：第 13 回調査から第 15 回調査まですべて回答を得た者のうち、「負担に思うことや悩みがある」とした者（平成 13 年 出生児 第 13 回調査 19,430、第 14 回調査 20,168、第 15 回調査 19,902、平成 22 年出生児 第 13 回調査 12,643、第 14 回調査 13,066、第 15 回調査 13,219）を集計。

3 こどもの平日の就寝時間

平成22年出生児について、第9回調査（小学3年生）までは約8～9割が「午後10時前」に就寝しているが、第12回調査（小学6年生）では「午後10時前」と「午後10時台」がそれぞれ約4割、第15回調査（中学3年生）では「午後11時台」が約4割となっている。また、「午前0時以降」に就寝する割合は男児より女児のほうが高く、就寝時間が遅いほど、家庭学習の時間が「3時間以上」の割合が高くなっている

平成22年出生児について、就学以降（第7回調査から第15回調査まで）のこどもの平日の就寝時間の変化をみると、第9回調査（小学3年生）までは約8～9割が「午後10時前」に就寝しているが、第12回調査（小学6年生）では「午後10時前」と「午後10時台」がそれぞれ約4割、第15回調査（中学3年生）では「午後11時台」が約4割となっている。この傾向は平成13年出生児と同様である。（表1）

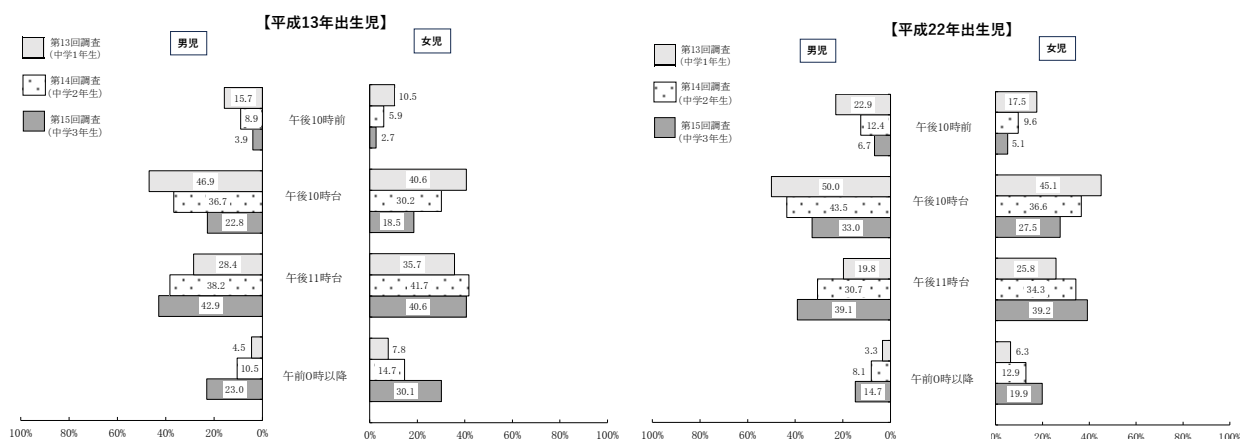
また、中学生（第13回調査から第15回調査まで）の間の就寝時間を性別にみると、男児より女児のほうが「午前0時以降」に就寝する割合は高く、この傾向も平成13年出生児と同様である（図6）。

表1 就学以降のこどもの就寝時間の変化・世代間比較【平日】

	第7回調査 (小学1年生)	第8回調査 (小学2年生)	第9回調査 (小学3年生)	第10回調査 (小学4年生)	第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)	第15回調査 (中学3年生)
(単位:%)									
平成13年出生児									
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
午後10時前	88.5	84.1	78.2	68.3	51.1	39.1	13.2	7.4	3.4
午後10時台	10.3	14.2	19.9	28.4	38.5	44.5	43.9	33.5	20.7
午後11時台	0.5	0.8	1.3	2.6	7.1	12.4	31.9	39.9	41.8
午前0時以降	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.1	6.1	12.5	26.4
寝る時間は決まっていない	0.3	0.2	0.2	0.3	2.4	2.1	4.2	6.1	7.4
平成22年出生児									
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
午後10時前	90.4	85.5	79.6	71.8	56.3	43.2	20.2	11.0	5.9
午後10時台	8.8	13.4	18.6	24.8	35.1	42.4	47.5	40.1	30.2
午後11時台	0.4	0.8	1.3	2.7	6.1	10.8	22.8	32.5	39.2
午前0時以降	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.2	4.8	10.5	17.3
寝る時間は決まっていない	0.2	0.2	0.3	0.3	1.2	1.6	3.6	4.9	6.0

注：第7回調査から第15回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 24,913、平成22年出生児 15,628）を集計。
なお、総数には「就寝時間不詳」が含まれる。

図6 こどもが中学生の間の就寝時間の変化・世代間比較【平日】

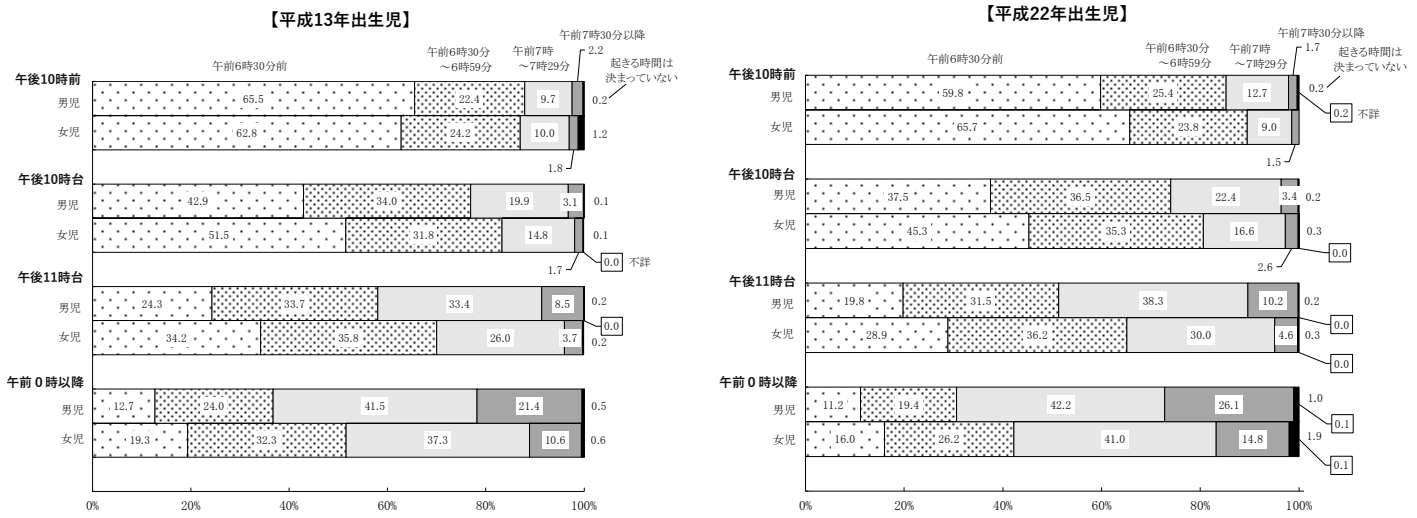


注：第7回調査から第15回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 24,913、平成22年出生児 15,628）を集計。

平成 22 年出生児について、第 15 回調査（中学 3 年生）の就寝時間と起床時間をみると、就寝時間が遅いほど、起床時間は「午前 7 時～7 時 29 分」「午前 7 時 30 分以降」の割合が高くなるが、就寝時間にかかわらず、男児より女児のほうが「午前 6 時 30 分前」の割合が高くなっている。この傾向は平成 13 年出生児の「午後 10 時前」を除き、同様である。（図 7）

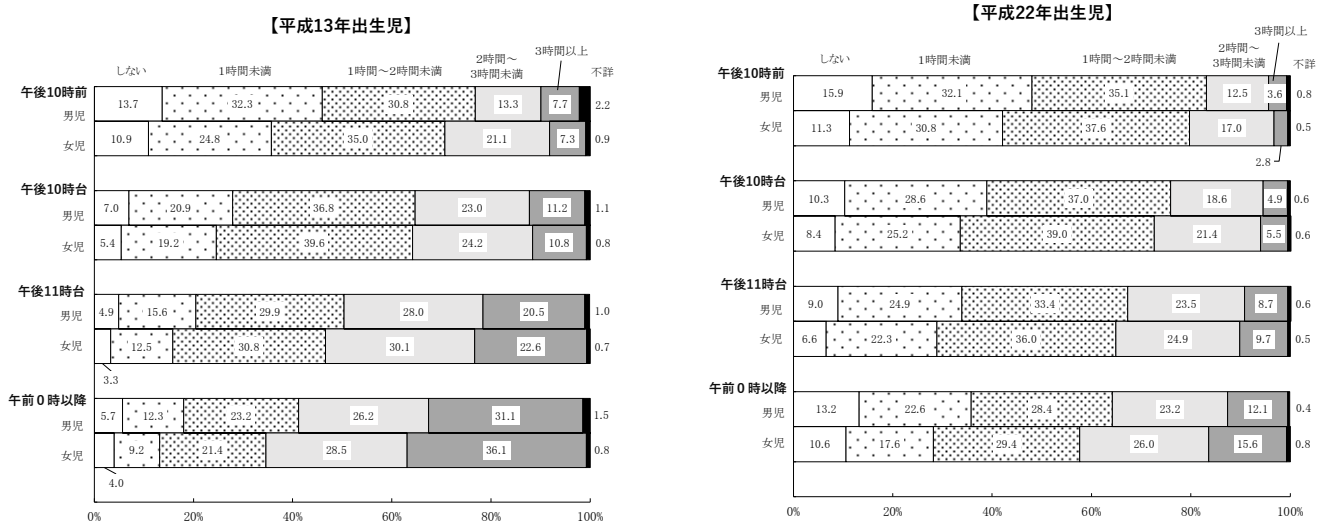
また、就寝時間が遅いほど、家庭学習の時間が「3 時間以上」の割合が高く、この傾向も平成 13 年出生児と同様である（図 8）。

図 7 こどもの就寝時間と起床時間・世代間比較【平日】（第 15 回調査）



注：第 7 回調査から第 15 回調査まですべて回答を得た者（平成 13 年出生児 24,913、平成 22 年出生児 15,628）を集計。

図 8 こどもの就寝時間と家庭学習の時間・世代間比較【平日】（第 15 回調査）



注：第 7 回調査から第 15 回調査まですべて回答を得た者（平成 13 年出生児 24,913、平成 22 年出生児 15,628）を集計。

4 こどもが将来働きたい地域

平成22年出生児について、第15回調査（中学3年生）で「働きたい地域を決めている」の割合は22.1%、「働けるならどの地域でもよい」は17.1%、「まだ考えていない」は58.6%と、「まだ考えていない」が約6割となっている。また、「働きたい地域を決めている」としたこどものうち、その希望する地域が「現在住んでいる市区町村、または現在住んでいる市区町村から通える地域」の割合は、男児・女児とも約6割であるが、これを住んでいる市郡別にみると、特に「21大都市」では高くなっている

平成22年出生児について、第15回調査（中学3年生）のこどもが将来働きたい地域をみると、「働きたい地域を決めている」の割合は22.1%、「働けるならどの地域でもよい」は17.1%、「まだ考えていない」は58.6%と、「まだ考えていない」が約6割であり、平成13年出生児の「まだ考えていない」と比べて7.7ポイント高くなっている。これを住んでいる市郡別にみると、「働きたい地域を決めている」の割合は、いずれの市郡においても男児より女児のほうが約1～2ポイント高く、女児のほうが高い傾向にあることについては、平成13年出生児と同様である（表2、図9）。

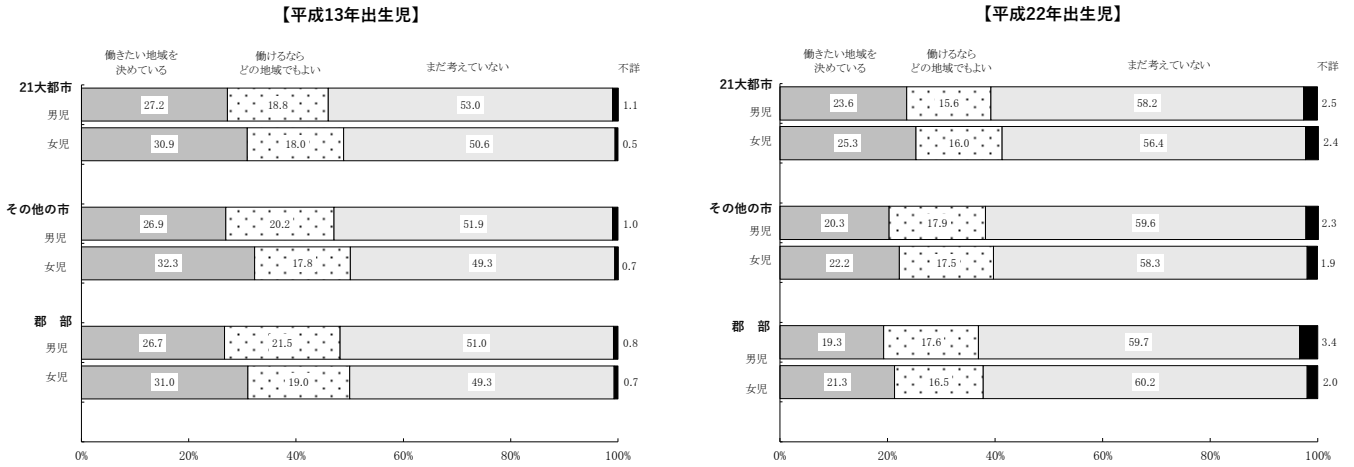
また、「働きたい地域を決めている」としたこどものうち、その希望する地域が「現在住んでいる市区町村、または現在住んでいる市区町村から通える地域」の割合は、男児・女児とも約6割であるが、これを住んでいる市郡別にみると、特に「21大都市」では高くなっている。この傾向も平成13年出生児と同様である。（表2、図10）

表2 こどもが将来働きたい地域・世代間比較（第15回調査）

	(単位:%)		
	総数	男児	女児
平成13年出生児			
総数	100.0	100.0	100.0
働きたい地域を決めている	29.3	26.9	31.8
	(100.0)	(100.0)	(100.0)
(再掲) 現在住んでいる市区町村、または 現在住んでいる市区町村から通える地域	(62.1)	(64.0)	(60.3)
その他の地域	(37.5)	(35.6)	(39.3)
働けるならどの地域でもよい	19.0	20.0	18.0
まだ考えていない	50.9	52.1	49.6
平成22年出生児			
総数	100.0	100.0	100.0
働きたい地域を決めている	22.1	21.2	23.0
	(100.0)	(100.0)	(100.0)
(再掲) 現在住んでいる市区町村、または 現在住んでいる市区町村から通える地域	(59.9)	(60.4)	(59.5)
その他の地域	(39.7)	(39.1)	(40.2)
働けるならどの地域でもよい	17.1	17.2	17.0
まだ考えていない	58.6	59.2	57.9

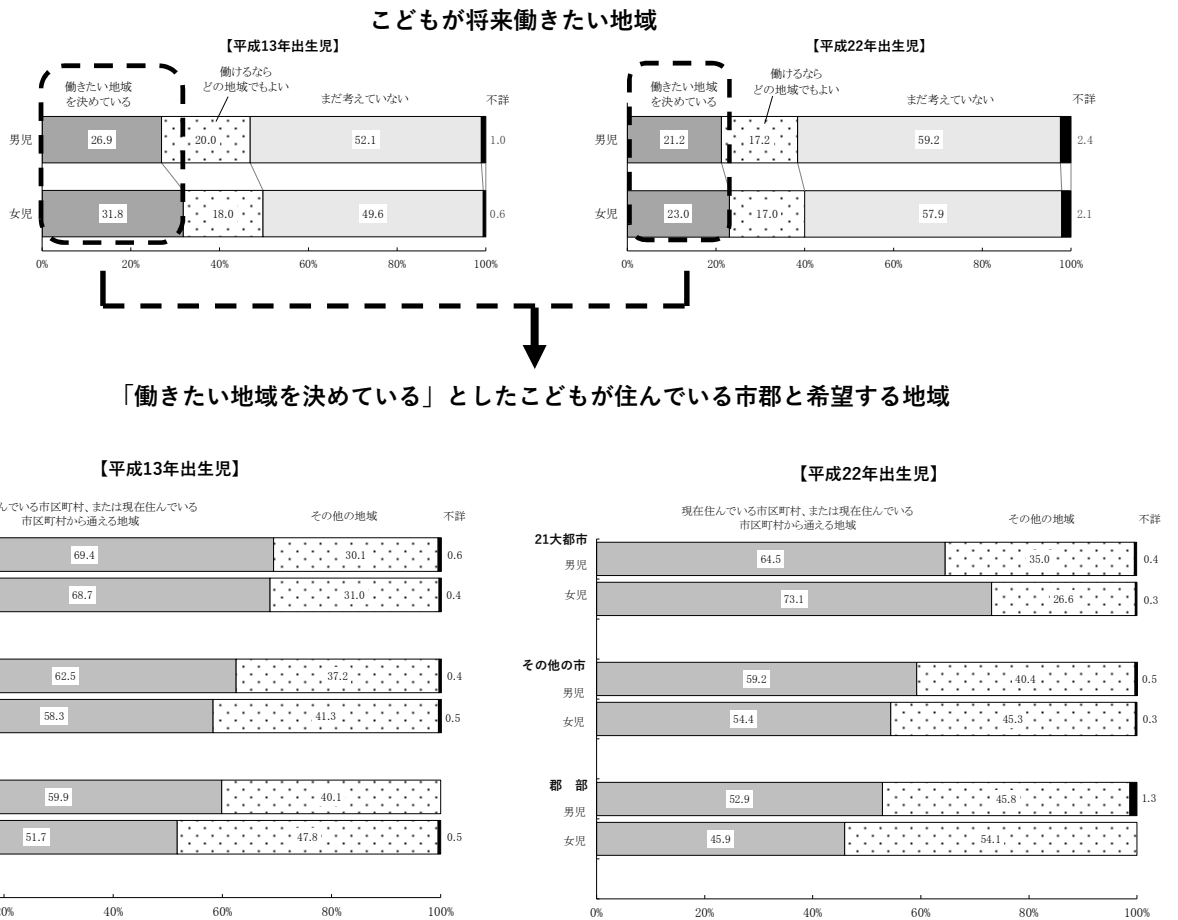
- 注：1) 第15回調査で回答を得た者（平成13年出生児 28,810、平成22年出生児 19,846）を集計。なお、総数には「働きたい地域不詳」が含まれる。
2) ()内は「働きたい地域を決めている」と回答した者を100として集計。なお、「働きたい地域を決めている」には「決めている地域不詳」が含まれる。

図9 こどもが住んでいる市郡と将来働きたい地域
・世代間比較（第15回調査）



注：第15回調査で回答を得た者（平成13年出生児 28,810、平成22年出生児 19,846）を集計。

図10 こどもが将来働きたい地域、住んでいる市郡別と希望する地域
・世代間比較（第15回調査）



注：第15回調査で回答を得た者（平成13年出生児 28,810、平成22年出生児 19,846）を集計。また、「働きたい地域を決めている」としたこどもが住んでいる市郡と希望する地域は、「働きたい地域を決めている」と回答した者を100として集計。

統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	平成22年出生児					平成13年出生児		
		総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前		14 158	5 386	2 688	647	5 392	45	23 346	12 628
第1回調査(出産半年後)		14 158	3 591	800	596	9 096	75	23 346	5 810
第2回調査		14 158	3 434	1 658	669	8 268	129	23 346	6 911
第3回調査		14 158	3 333	2 214	781	7 727	103	23 346	・
第4回調査		14 158	3 344	2 707	912	6 964	231	23 346	9 272
第5回調査		14 158	3 475	3 585	957	6 108	33	23 346	10 507
第6回調査		14 158	3 518	4 114	957	5 541	28	23 346	11 575
第7回調査		14 158	3 623	4 772	969	4 761	33	23 346	12 730
第8回調査		14 158	3 683	5 472	1 000	3 821	182	23 346	13 823
第9回調査		14 158	3 782	5 794	985	3 445	152	23 346	14 683
第10回調査		14 158	3 914	5 936	969	3 311	28	23 346	15 208
第11回調査		14 158	4 030	6 158	974	2 979	17	23 346	16 403
第12回調査		14 158	4 171	6 234	985	2 751	17	23 346	17 120
第13回調査		14 158	4 371	6 279	970	2 447	91	23 346	17 784
第14回調査		14 158	4 621	6 306	992	2 141	98	23 346	18 504
第15回調査		14 158	4 815	6 221	1 008	2 027	87	23 346	18 872

注：第1回調査から第15回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

							(単位:人)	
調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第15回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
(1) 出産1年前の就業状況								
	平成13年出生児	23 346	7 650	3 687	1 291	10 554	164	
	平成22年出生児	14 158	5 386	2 688	647	5 392	45	
(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化								
平成13年出生児								
	第1回調査	7 650	3 687	158	82	3 708	15	・
	第2回調査	7 650	3 291	560	160	3 611	28	・
	第3回調査	7 650	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	7 650	3 052	1 033	315	3 186	64	・
	第5回調査	7 650	3 062	1 251	323	2 905	109	・
	第6回調査	7 650	3 041	1 444	354	2 738	73	・
	第7回調査	7 650	2 968	1 688	402	2 539	53	・
	第8回調査	7 650	2 981	1 906	398	2 275	90	・
	第9回調査	7 650	3 011	2 109	396	2 075	59	・
	第10回調査	7 650	3 039	2 318	348	1 873	72	・
	第11回調査	7 650	3 104	2 523	390	1 594	39	・
	第12回調査	7 650	3 153	2 705	353	1 411	28	・
	第13回調査	7 650	3 258	2 792	377	1 187	36	・
	第14回調査	7 650	3 328	2 900	367	1 027	28	・
	第15回調査	7 650	3 394	2 949	353	927	27	1 795
平成22年出生児								
	第1回調査	5 386	3 535	110	33	1 706	2	・
	第2回調査	5 386	3 196	463	88	1 599	40	・
	第3回調査	5 386	3 023	587	169	1 577	30	・
	第4回調査	5 386	2 927	720	219	1 436	84	・
	第5回調査	5 386	2 976	905	208	1 287	10	・
	第6回調査	5 386	2 953	1 041	185	1 198	9	・
	第7回調査	5 386	2 955	1 179	188	1 054	10	・
	第8回調査	5 386	2 887	1 362	219	849	69	・
	第9回調査	5 386	2 899	1 426	206	783	72	・
	第10回調査	5 386	2 923	1 490	210	753	10	・
	第11回調査	5 386	2 911	1 578	217	677	3	・
	第12回調査	5 386	2 936	1 570	238	635	7	・
	第13回調査	5 386	2 972	1 606	232	551	25	・
	第14回調査	5 386	3 003	1 627	244	474	38	・
	第15回調査	5 386	3 080	1 591	242	440	33	1 712
(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化								
平成13年出生児								
	第1回調査	3 687	40	528	119	2 981	19	
	第2回調査	3 687	108	796	135	2 639	9	
	第3回調査	3 687	・	・	・	・	・	
	第4回調査	3 687	210	1 118	201	2 113	45	
	第5回調査	3 687	245	1 265	249	1 858	70	
	第6回調査	3 687	294	1 390	238	1 727	38	
	第7回調査	3 687	333	1 505	260	1 561	28	
	第8回調査	3 687	377	1 600	256	1 416	38	
	第9回調査	3 687	413	1 703	272	1 276	23	
	第10回調査	3 687	443	1 768	254	1 172	50	
	第11回調査	3 687	495	1 924	260	992	16	
	第12回調査	3 687	553	2 008	247	873	6	
	第13回調査	3 687	587	2 058	231	794	17	
	第14回調査	3 687	670	2 118	240	643	16	
	第15回調査	3 687	716	2 123	234	602	12	
平成22年出生児								
	第1回調査	2 688	35	616	65	1 967	5	
	第2回調査	2 688	104	819	100	1 632	33	
	第3回調査	2 688	146	947	115	1 453	27	
	第4回調査	2 688	215	997	136	1 303	37	
	第5回調査	2 688	248	1 183	137	1 114	6	
	第6回調査	2 688	268	1 248	159	1 005	8	
	第7回調査	2 688	320	1 341	159	859	9	
	第8回調査	2 688	361	1 428	166	693	40	
	第9回調査	2 688	397	1 462	166	633	30	
	第10回調査	2 688	423	1 509	158	593	5	
	第11回調査	2 688	471	1 533	163	517	4	
	第12回調査	2 688	498	1 537	163	489	1	
	第13回調査	2 688	548	1 527	157	433	23	
	第14回調査	2 688	622	1 507	164	375	20	
	第15回調査	2 688	658	1 494	172	344	20	

注：第1回調査から第15回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
 なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 こどもが中学生の間の子育てについて保護者が負担に思うことや悩みとその内容（複数回答）の変化・世代間比較（5頁図3、図4、6頁図5）

(単位:人)

調査回、こどもの性別 保護者が負担に思うことや悩み	第13回調査			第14回調査			第15回調査		
	総数	男児の保護者	女児の保護者	総数	男児の保護者	女児の保護者	総数	男児の保護者	女児の保護者
平成13年出生児									
総数	26 957	13 851	13 106	26 957	13 851	13 106	26 957	13 851	13 106
負担に思うことや悩みがある	19 430	10 215	9 215	20 168	10 651	9 517	19 902	10 532	9 370
負担に思うことや悩みの内容(複数回答)									
子育ての出費がかさむ	10 085	5 125	4 960	10 136	5 199	4 937	10 881	5 558	5 323
配偶者が子育てに無関心	975	513	462	1 066	571	495	1 057	570	487
ほかの保護者との付き合いが煩わしい	1 109	558	551	1 181	616	565	938	521	417
気持ちに余裕をもってこどもに接することができない	2 679	1 437	1 242	2 500	1 271	1 229	2 135	1 090	1 045
こどもの反抗的な態度や言動	5 879	2 922	2 957	5 805	2 974	2 831	4 749	2 500	2 249
こどもの暴力に関すること	146	114	32	163	120	43	144	115	29
こどもの成績に関すること	10 036	5 734	4 302	10 516	6 079	4 437	9 421	5 360	4 061
こどもの将来(進路など)に関すること	9 111	5 256	3 855	11 663	6 639	5 024	12 544	7 086	5 458
こどもがいじめられている	370	210	160	305	167	138	175	93	82
こどもが学校に行きたがらない(行かない)	533	270	263	739	371	368	724	370	354
こどもが病気がちである	413	214	199	478	251	227	435	203	232
こどもの交友関係に関すること	2 825	1 223	1 602	2 561	1 091	1 470	1 767	843	924
こどもの異性との交際に関すること	304	140	164	391	167	224	447	223	224
その他	765	387	378	1 044	584	460	951	549	402
負担に思うことや悩みは特いない	6 924	3 322	3 602	6 353	2 980	3 373	6 392	2 985	3 407
不詳	603	314	289	436	220	216	663	334	329
平成22年出生児									
総数	17 757	8 931	8 826	17 757	8 931	8 826	17 757	8 931	8 826
負担に思うことや悩みがある	12 643	6 419	6 224	13 066	6 719	6 347	13 219	6 776	6 443
負担に思うことや悩みの内容(複数回答)									
子育ての出費がかさむ	8 345	4 241	4 104	7 626	3 890	3 736	8 048	4 081	3 967
配偶者が子育てに無関心	703	326	377	763	378	385	764	363	401
ほかの保護者との付き合いが煩わしい	967	473	494	913	483	430	788	392	396
気持ちに余裕をもってこどもに接することができない	1 930	1 013	917	1 712	876	836	1 533	766	767
こどもの反抗的な態度や言動	3 584	1 787	1 797	3 631	1 825	1 806	3 005	1 508	1 497
こどもの暴力に関すること	95	65	30	107	71	36	85	56	29
こどもの成績に関すること	4 293	2 343	1 950	5 914	3 270	2 644	5 626	3 114	2 512
こどもの将来(進路など)に関すること	5 405	2 986	2 419	7 194	3 929	3 265	8 603	4 569	4 034
こどもがいじめられている	110	63	47	132	62	70	123	47	76
こどもが学校に行きたがらない(行かない)	689	305	384	1 067	454	613	1 067	466	601
こどもが病気がちである	278	135	143	426	211	215	459	208	251
こどもの交友関係に関すること	2 002	860	1 142	1 958	802	1 156	1 571	636	935
こどもの異性との交際に関すること	231	110	121	278	134	144	332	166	166
その他	920	486	434	872	446	426	759	402	357
負担に思うことや悩みは特いない	4 641	2 255	2 386	4 372	2 050	2 322	4 134	1 961	2 173
不詳	473	257	216	319	162	157	404	194	210

注：第13回調査から第15回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表4 就学以降のこどもの就寝時間の変化・世代間比較【平日】（7頁表1、図6）

（単位：人）

調査回 就寝時間	第7回調査 (小学1年生)	第8回調査 (小学2年生)	第9回調査 (小学3年生)	第10回調査 (小学4年生)	第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)	第15回調査 (中学3年生)
平成13年出生児									
総数	24 913	24 913	24 913	24 913	24 913	24 913	24 913	24 913	24 913
午後10時前	22 044	20 957	19 480	17 010	12 723	9 735	3 284	1 848	835
午後10時台	2 569	3 549	4 962	7 064	9 598	11 095	10 927	8 356	5 156
午後11時台	128	197	336	660	1 770	3 080	7 952	9 939	10 413
午前0時以降	5	8	9	19	119	269	1 520	3 123	6 581
寝る時間は決まっていない	65	48	52	70	595	530	1 048	1 514	1 832
不詳	102	154	74	90	108	204	182	133	96
男児	12 824	12 824	12 824	12 824	12 824	12 824	12 824	12 824	12 824
午後10時前	11 341	10 805	10 044	8 916	6 944	5 529	2 014	1 139	504
午後10時台	1 335	1 805	2 568	3 519	4 700	5 499	6 019	4 703	2 920
午後11時台	65	104	156	301	812	1 370	3 642	4 899	5 500
午前0時以降	3	5	6	14	57	101	578	1 342	2 946
寝る時間は決まっていない	33	28	21	31	260	216	468	660	891
不詳	47	77	29	43	51	109	103	81	63
女児	12 089	12 089	12 089	12 089	12 089	12 089	12 089	12 089	12 089
午後10時前	10 703	10 152	9 436	8 094	5 779	4 206	1 270	709	331
午後10時台	1 234	1 744	2 394	3 545	4 898	5 596	4 908	3 653	2 236
午後11時台	63	93	180	359	958	1 710	4 310	5 040	4 913
午前0時以降	2	3	3	5	62	168	942	1 781	3 635
寝る時間は決まっていない	32	20	31	39	335	314	580	854	941
不詳	55	77	45	47	57	95	79	52	33
平成22年出生児									
総数	15 628	15 628	15 628	15 628	15 628	15 628	15 628	15 628	15 628
午後10時前	14 125	13 357	12 443	11 228	8 794	6 748	3 156	1 720	926
午後10時台	1 371	2 092	2 902	3 879	5 486	6 623	7 427	6 263	4 725
午後11時台	60	124	205	415	961	1 687	3 560	5 081	6 119
午前0時以降	1	2	3	20	84	185	751	1 637	2 708
寝る時間は決まっていない	30	26	42	49	194	255	564	769	943
不詳	41	27	33	37	109	130	170	158	207
男児	7 827	7 827	7 827	7 827	7 827	7 827	7 827	7 827	7 827
午後10時前	7 080	6 749	6 280	5 726	4 645	3 669	1 791	972	527
午後10時台	683	983	1 418	1 868	2 604	3 237	3 912	3 405	2 581
午後11時台	32	71	96	186	402	708	1 549	2 404	3 058
午前0時以降	-	1	-	12	29	62	262	634	1 153
寝る時間は決まっていない	14	13	21	17	94	91	230	326	400
不詳	18	10	12	18	53	60	83	86	108
女児	7 801	7 801	7 801	7 801	7 801	7 801	7 801	7 801	7 801
午後10時前	7 045	6 608	6 163	5 502	4 149	3 079	1 365	748	399
午後10時台	688	1 109	1 484	2 011	2 882	3 386	3 515	2 858	2 144
午後11時台	28	53	109	229	559	979	2 011	2 677	3 061
午前0時以降	1	1	3	8	55	123	489	1 003	1 555
寝る時間は決まっていない	16	13	21	32	100	164	334	443	543
不詳	23	17	21	19	56	70	87	72	99

注：第7回調査から第15回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表5 こどもの就寝時間と起床時間・世代間比較【平日】
(第15回調査)(8頁図7)

(単位:人)

就寝時間	起床時間						起きる時間は決まっていない	不詳
	総数	午前6時30分前	午前6時30分～6時59分	午前7時～7時29分	午前7時30分以降			
平成13年出生児								
総数	24 913	7 334	7 833	7 294	2 046	321	85	
午後10時前	835	538	193	82	17	5	-	
午後10時台	5 156	2 406	1 704	912	129	4	1	
午後11時台	10 413	3 016	3 613	3 114	649	20	1	
午前0時以降	6 581	1 075	1 880	2 578	1 014	34	-	
寝る時間は決まっていない	1 832	295	438	604	236	258	1	
不詳	96	4	5	4	1	-	82	
男児	12 824	3 419	3 860	3 977	1 329	181	58	
午後10時前	504	330	113	49	11	1	-	
午後10時台	2 920	1 254	993	581	90	2	-	
午後11時台	5 500	1 335	1 853	1 835	465	11	1	
午前0時以降	2 946	375	706	1 222	629	14	-	
寝る時間は決まっていない	891	124	192	288	133	153	1	
不詳	63	1	3	2	1	-	56	
女児	12 089	3 915	3 973	3 317	717	140	27	
午後10時前	331	208	80	33	6	4	-	
午後10時台	2 236	1 152	711	331	39	2	1	
午後11時台	4 913	1 681	1 760	1 279	184	9	-	
午前0時以降	3 635	700	1 174	1 356	385	20	-	
寝る時間は決まっていない	941	171	246	316	103	105	-	
不詳	33	3	2	2	-	-	26	
平成22年出生児								
総数	15 628	4 545	4 824	4 522	1 267	275	195	
午後10時前	926	577	229	103	15	1	1	
午後10時台	4 725	1 940	1 697	934	142	11	1	
午後11時台	6 119	1 490	2 071	2 089	451	16	2	
午前0時以降	2 708	378	632	1 123	531	41	3	
寝る時間は決まっていない	943	154	192	263	128	206	-	
不詳	207	6	3	10	-	-	188	
男児	7 827	2 076	2 332	2 416	774	122	107	
午後10時前	527	315	134	67	9	1	1	
午後10時台	2 581	969	941	579	87	5	-	
午後11時台	3 058	605	962	1 172	311	7	1	
午前0時以降	1 153	129	224	486	301	12	1	
寝る時間は決まっていない	400	58	71	108	66	97	-	
不詳	108	-	-	4	-	-	104	
女児	7 801	2 469	2 492	2 106	493	153	88	
午後10時前	399	262	95	36	6	-	-	
午後10時台	2 144	971	756	355	55	6	1	
午後11時台	3 061	885	1 109	917	140	9	1	
午前0時以降	1 555	249	408	637	230	29	2	
寝る時間は決まっていない	543	96	121	155	62	109	-	
不詳	99	6	3	6	-	-	84	

注：第7回調査から第15回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表6 こどもの就寝時間と家庭学習の時間・世代間比較【平日】
(第15回調査)(8頁図8)

(単位:人)

就寝時間	家庭学習の時間						
	総数	しない	1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間以上	不詳
平成13年出生児							
総数	24 913	1 431	3 774	7 383	6 610	5 423	292
午後10時前	835	105	245	271	137	63	14
午後10時台	5 156	325	1 040	1 960	1 213	570	48
午後11時台	10 413	435	1 469	3 161	3 020	2 238	90
午前0時以降	6 581	314	697	1 461	1 807	2 229	73
寝る時間は決まっていない	1 832	250	312	511	421	315	23
不詳	96	2	11	19	12	8	44
男児	12 824	845	2 163	3 826	3 253	2 550	187
午後10時前	504	69	163	155	67	39	11
午後10時台	2 920	205	610	1 075	671	328	31
午後11時台	5 500	272	856	1 647	1 540	1 128	57
午前0時以降	2 946	167	363	683	772	916	45
寝る時間は決まっていない	891	130	162	255	197	135	12
不詳	63	2	9	11	6	4	31
女児	12 089	586	1 611	3 557	3 357	2 873	105
午後10時前	331	36	82	116	70	24	3
午後10時台	2 236	120	430	885	542	242	17
午後11時台	4 913	163	613	1 514	1 480	1 110	33
午前0時以降	3 635	147	334	778	1 035	1 313	28
寝る時間は決まっていない	941	120	150	256	224	180	11
不詳	33	-	2	8	6	4	13
平成22年出生児							
総数	15 628	1 592	3 775	5 310	3 410	1 273	268
午後10時前	926	129	292	335	134	30	6
午後10時台	4 725	447	1 277	1 791	938	244	28
午後11時台	6 119	477	1 445	2 121	1 481	561	34
午前0時以降	2 708	317	535	785	672	382	17
寝る時間は決まっていない	943	215	220	271	177	54	6
不詳	207	7	6	7	8	2	177
男児	7 827	891	2 028	2 598	1 597	572	141
午後10時前	527	84	169	185	66	19	4
午後10時台	2 581	267	737	954	480	127	16
午後11時台	3 058	274	762	1 020	719	265	18
午前0時以降	1 153	152	261	328	267	140	5
寝る時間は決まっていない	400	110	97	110	61	20	2
不詳	108	4	2	1	4	1	96
女児	7 801	701	1 747	2 712	1 813	701	127
午後10時前	399	45	123	150	68	11	2
午後10時台	2 144	180	540	837	458	117	12
午後11時台	3 061	203	683	1 101	762	296	16
午前0時以降	1 555	165	274	457	405	242	12
寝る時間は決まっていない	543	105	123	161	116	34	4
不詳	99	3	4	6	4	1	81

注：第7回調査から第15回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表7 こどもが住んでいる市郡と将来働きたい地域・世代間比較
(第15回調査)(9頁表2、10頁図9、図10)

(単位:人)

働きたい地域 住んでいる市郡	総数	働きたい地域を 決めている	現在住んでいる	その他の 地域	決めている地域 不詳	働けるならどの 地域でもよい	まだ考えて いない	不詳
			市区町村、または 現在住んでいる 市区町村から 通える地域					
平成13年出生児								
総数	28 810	8 438	5 236	3 166	36	5 472	14 658	242
21大都市	7 541	2 184	1 507	667	10	1 387	3 910	60
その他の市	18 677	5 510	3 318	2 169	23	3 558	9 448	161
郡部	2 534	730	406	322	2	514	1 272	18
外国	58	14	5	8	1	13	28	3
男児	14 796	3 983	2 551	1 416	16	2 953	7 706	154
21大都市	3 914	1 064	738	320	6	734	2 074	42
その他の市	9 552	2 566	1 603	954	9	1 934	4 953	99
郡部	1 305	349	209	140	-	280	666	10
外国	25	4	1	2	1	5	13	3
女児	14 014	4 455	2 685	1 750	20	2 519	6 952	88
21大都市	3 627	1 120	769	347	4	653	1 836	18
その他の市	9 125	2 944	1 715	1 215	14	1 624	4 495	62
郡部	1 229	381	197	182	2	234	606	8
外国	33	10	4	6	-	8	15	-
平成22年出生児								
総数	19 846	4 379	2 625	1 737	17	3 398	11 620	449
21大都市	5 610	1 372	945	422	5	887	3 213	138
その他の市	12 652	2 688	1 524	1 154	10	2 240	7 458	266
郡部	1 538	312	154	156	2	262	922	42
外国	46	7	2	5	-	9	27	3
男児	10 029	2 122	1 281	830	11	1 727	5 935	245
21大都市	2 863	677	437	237	3	448	1 665	73
その他の市	6 343	1 286	761	519	6	1 135	3 779	143
郡部	792	153	81	70	2	139	473	27
外国	31	6	2	4	-	5	18	2
女児	9 817	2 257	1 344	907	6	1 671	5 685	204
21大都市	2 747	695	508	185	2	439	1 548	65
その他の市	6 309	1 402	763	635	4	1 105	3 679	123
郡部	746	159	73	86	-	123	449	15
外国	15	1	-	1	-	4	9	1

注：第15回調査で回答を得た者を集計。

用語の定義

(1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（おおむね3か月以上）にわたって不在にしている者。
 - ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。
- ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。

(3) 就寝時間、起床時間

平日の曜日によって寝る時間、起きる時間が異なる場合は、最も多い時間帯。

(4) 家庭学習

授業の予習・復習や受験勉強など、ふだんの家や塾などでの勉強時間。
学校の宿題は含めない。

(5) 市郡

調査対象である子の第15回調査時における住所地である。

「21大都市」

東京都区部、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

「その他の市」

21大都市以外の市

「郡部」

21大都市、その他の市以外